

## みどりの瞳 (1964)

GIRL WITH GREEN EYES

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 イギリス

色彩 B&amp;W

時間 91分

初公開日 1966/10/16

公開情報 U A

## 【解説】

アイルランドの人気作家E・オブライエンが自作小説『孤独な娘』を自ら脚色したシナリオを、カメラマン出身のデイヴィスが初演出。撮影がやはり生き生きと素晴らしく60年代前半の英国映画の新鮮なムードを体現している、R・トゥシンハムの“キツネザルのような”可憐さと繊細さに心揺さぶられる秀作だ。ヒロイン、ケイトは修道院学校の同窓バーバラと共に都会ダブリンに出て、青春をエンジョイしている娘で、バーバラのBFと共に犬を売りに行った先の作家ユージンに密かに恋する。ケイトもまたF=S・フィッツジェラルドを愛好する文学少女で、食糧品店のレジをしながら『夜はやさし』を読む。本屋でのユージンとの再会。初めはバーバラを交えて会っていたが、そのうち二人きりで会うようになり、彼を自分の下宿のお茶に呼び、また、彼の郊外の屋敷にも招かれる。結婚を前提とした交際で、何もせずベッドを共にする奇妙な晩も。が、彼には離婚手続でアメリカに赴いた（アイルランドはカソリック国で離婚が許されない）妻と娘もあった。悩むケイトだが、強権的な父や叔父たちの襲来に一旦は故郷に連れ戻されても、彼のもとに逃げ帰り、同棲生活に入る。けれど、彼のスノッブな友人にバカにされたり、そんなぬるま湯的なサロン会話を懐かしがる彼とはやはりすれ違いができてしまう。その溝を埋める術を知らぬまま、バーバラを頼った彼女をユージンは見捨て、彼女はバーバラと共にロンドンに渡って夜間学校に通い、新たな世界に目を開くのがあった……。優柔不断な中年作家をP・フィンチが好演。細かなユーモアをちりばめた感受性豊かな初恋物語のこのテイストは、自らのメガホンでは出せぬと悟ったか、フリーシネマの雄、リチャードソンは今回製作に回っている。

## 【クレジット】

監督	デズモンド・デイヴィス	Desmond Davis
製作	トニー・リチャードソン	Tony Richardson
原作	エドナ・オブライエン	Edna O'Brien
脚本	エドナ・オブライエン	Edna O'Brien
撮影	マニー・ウィン	Manny Wynn
音楽	ジョン・アディソン	John Addison
出演	リタ・トゥシンハム	Rita Tushingham
	ピーター・フィンチ	Peter Finch
	リン・レッドグレーヴ	Lynn Redgrave
	T・P・マッケンナ	T.P. McKenna
	マイア・キーン	Maire Kean
	ジュリアン・グローヴァー	Julian Glover
	アイリーン・クロウ	Eileen Crowe